



# 「感じて動」き出す」学びへ



## 1 学び出す

「確かめたい」「考えたい」「やってみたい」

すべての子どもが課題解決の見通しをもったり、解決方法を選択したりして、自ら動き出そうとする授業にします。

## 2 学び合う

「話したい」「聞きたい」「話し合いたい」

すべての子どもが友だちの話に耳を傾け、自分の考えを確かめたり、新たにしたり、磨き上げたりする授業にします。

## 3 学びとる

「分かった」「できた」「がんばった」

すべての子どもが今日の授業で「自分は何がわかり、何ができるようになったのか」を実感できる授業にします。

教師が「話す」授業から、  
教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業へ

## ～ 授業改善チェックリスト ～

＜すべての子どもが「学び出す」授業にするために＞

- すべての子どもに結果の見通しをもたせたり、解決の見通しをもたせたりしている。
- すべての子どもの多様な見方や考え方を引き出すことができる学習課題を設定している。
- 教材との出合わせ方を工夫し、「考えたい」「やってみたい」という思いを引き出すようにしている。

＜すべての子どもが「学び合う」授業にするために＞

- 友だちの考えを聞きたい、自分の考えを話したいと思う発問を設定している。
- すべての子どもが、互いの考えを比較、検討、吟味することができる時間を確保している。
- 子どもと子どもの発言をつないで、集団で学び合える授業づくりをしている。
- 分からないことを「分からない」と言える安全・安心に学べる学級になっている。
- 教師が話しすぎることなく、子どもが話す機会を多く確保している。

＜すべての子どもが「学びとる」授業にするために＞

- 授業で何がわかり、どのようなことができるようになったのか、自分の言葉で学んだことを振り返らせている。
- 学んだことを活用したり、次の学びにつなげようと考えたりする場面を位置付けている。
- 個に応じた振り返りの視点を与え、自分の成長や変容に気付くことができるようにしている。

- 子どもの学びから自分の指導を振り返っている。

# 県南版・授業改善3つのポイント ～学びの「見取り」と「価値付け」を生かして～

## 教師が「話す」授業から、 教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業へ

### 学び出す

【県南の重点】授業のはじめにどんな学習をするのかをつかんでから学習に取り組んだ児童生徒ほど学力の伸びが大きい。(ふくしま学調の県南の結果より)  
□ 教材との出合わせ方を工夫し、「考えたい」「やってみよう」という思いを引き出すようにしている。

○ 教材との出合わせ方を工夫し、興味・関心を高め、「問い」や「思い・願い」を引き出します。これらは「主体的な学び」への原動力となるものであり、自ら課題を見いだそうとする態度を育むことにつながります。



### 学び合う

【県南の重点】話し合ったり、交流したりしたことで自分の考えをもてるようになった児童生徒ほど学力の伸びが大きい。(ふくしま学調の県南の結果より)  
□ 子どもと子どもの発言をつないで、集団で学び合える授業づくりをしている。



みる

見取る

きく

「見る」…反応、学級全体の傾向を知る。  
「観る」…ノートへの記入状況、課題への取組状況を把握する。  
「診る」…学習の仕方、理解の方向性を把握する。  
「看る」…子どものつまづきを捉え、理解や活動を促す。  
「ふくしまの授業スタンダード」を基に作成

見取る

「聞く」…子どもたちの話合いの状況やつぶやきを把握する。  
「訊く」…子どもの発言、背景にある思いを引き出す。  
子ども同士の考えをつなぐ。  
「聴く」…児童生徒の考え、思いを受け止める。

価値付ける

○ 学習に向かう姿(学び方や態度)を価値付ける。  
○ 教科の見方・考え方を働かせている児童生徒の言動を価値付ける。(教科の本質に迫る)

働きかけ  
問い返し

どういことですか?

どのように考えたのですか?

つなぐ

どうしてそうなるのですか?

〇〇さんの考えをもう一度言えますか?

〇〇さんの考えの続きが言えますか?

※ 子どもが発言するのを待ったり、子ども同士の発言が繋がると見守ったりする姿勢も大切です。



価値付ける(教科の見方・考え方)

〇〇(既習事項)を使うと解けるんだね。

〇〇したから、□□(共通点・相違点等)が分かったんだね。

### 学びとる

【県南の重点】授業で学んだことを振り返り、自分が分かったことや分からなかったことを理解している児童生徒ほど学力の伸びが大きい。(ふくしま学調の県南の結果より)  
□ 授業で何がわかり、どのようなことができるようになったのか、自分の言葉で学んだことを振り返らせている。

○ 授業のねらいに基づいて、何がわかり、何ができるようになったのか、自分の言葉で振り返ることによって学びを深め、次の「学びへ向かう力」を育成します。

まとめ  
振り返り

〇〇を学習して、□□に気付いた。

〇〇さんの考えに納得した。

〇〇を使うと、□□することができる。

次は、〇〇を試してみたい。



## 学習指導・生徒指導の一体化

( 自己存在感の感受 共感的な人間関係の育成 自己決定の場の提供 安心・安全な風土の醸成 )